

2026 年度 授業計画(シラバス)

学 科	医療心理科		科 目 区 分	専門分野	授業の方法	演習
科 目 名	ソーシャルワーク実習指導		必修/選択の別	選択	授業時数(単位数)	90 (3) 時間(単位)
対 象 学 年	2年		学期及び曜時間	前期 月曜4限	教室名	5校舎7階
担 当 教 員	吉岡 千乃 岡井 豪	実務経験とその関連資格	(岡井)精神保健福祉士として医療法人南風会 万葉クリニック、社会医療法人渡邊高記念会 西宮渡辺病院相談業務従事した。			
<b>《授業科目における学習内容》</b> ①ソーシャルワーク(精神保健福祉士)実習の意義について理解する。 ②精神疾患や精神障害のある人のおかれている現状を理解し、その生活の実態や生活上の困難について理解する。 ③ソーシャルワーク(精神保健福祉士)実習に係る個別指導及び集団指導を通して、精神保健福祉士や行うソーシャルワークに係る知識と技術について具体的かつ実践的に理解し実践的な技術等を体得する。 ④精神保健福祉士として求められる資質、技能、倫理、自己に求められる課題把握等、総合的に対応できる能力を習得する。 ⑤具体的な実習体験を、専門知識及び技術として概念化し、理論化し体系立てていくことができる能力を涵養する。						
<b>《成績評価の方法と基準》</b> 定期試験の点数70% 出席点20% 小テスト・受講態度点10%						
<b>《使用教材(教科書)及び参考図書》</b> 新精神保健福祉士養成講座8 『ソーシャルワーク実習指導・ソーシャルワーク実習』 中央法規出版						
<b>《授業外における学習方法》</b> 様々なメディアで取り上げられる精神障害者関連の問題について積極的に関心を持ち、知る努力をすすめて下さい。						
<b>《履修に当たっての留意点》</b> 3期に渡る科目のため、学年や実習前後のタイミング等に合わせた指導を展開します。						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容	
第1回	演習形式	授業を通じての到達目標	実習と実習指導の意義について説明できるようになる。	配布資料等	配布資料及びこれまでのテキストの該当部分を予習	
		各コマにおける授業予定	精神保健福祉士になるための必要な実習と実習指導の、目的・意義 等			
第2回	演習形式	授業を通じての到達目標	精神保健医療福祉の現状を説明できるようになる。	配布資料等	配布資料及びこれまでのテキストの該当部分を予習	
		各コマにおける授業予定	時機に合わせて内容は指定 調べ学習を中心とする。			
第3回	演習形式	授業を通じての到達目標	実習先について説明できるようになる。	配布資料等	配布資料及びこれまでのテキストの該当部分を予習	
		各コマにおける授業予定	配属予定にお施設について、種別、対象、規模、理念等をわかる限り調べまとめる。			
第4回	演習形式	授業を通じての到達目標	当事者の語りの触れる体験を通じて、現場のイメージを具体的に思い浮かべることができるようになる。	配布資料等	配布資料及びこれまでのテキストの該当部分を予習	
		各コマにおける授業予定	当事者による講演もしくは施設見学			
第5回	演習形式	授業を通じての到達目標	施設見学を通じて、自らの調べや理解の足りない部分を補えるようになる。	配布資料等	配布資料及びこれまでのテキストの該当部分を予習	
		各コマにおける授業予定	施設見学を予定			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容
第6回	演習形式	授業を通じての到達目標	精神保健福祉士として実習先で求められる専門知識と技術を確認し、涵養することができる。	配布資料等	配布資料及びこれまでのテキストの該当部分を予習
		各コマにおける授業予定	各実習先で求められる専門職の知識、技術の調べ学習		
第7回	演習形式	授業を通じての到達目標	精神保健福祉士として実習先で求められる専門知識と技術を確認し、涵養することができる。	配布資料等	配布資料及びこれまでのテキストの該当部分を予習
		各コマにおける授業予定	各実習先で求められる専門職の知識、技術について発表を通じて共有する。		
第8回	演習形式	授業を通じての到達目標	精神保健福祉士に求められる職業倫理と法的責務について説明できるようになる。	配布資料等	配布資料及びこれまでのテキストの該当部分を予習
		各コマにおける授業予定	職業倫理、法的責務		
第9回	演習形式	授業を通じての到達目標	個人のプライバシー保護と守秘義務について説明できるようになる。	配布資料等	配布資料及びこれまでのテキストの該当部分を予習
		各コマにおける授業予定	精神保健福祉法及び個人情報保護法等		
第10回	演習形式	授業を通じての到達目標	実習日誌の内容と書き方を説明できるようになる。	配布資料等	配布資料及びこれまでのテキストの該当部分を予習
		各コマにおける授業予定	実習日誌とは、内容、書き方、構成等		
第11回	演習形式	授業を通じての到達目標	実習日誌を実際に書いてみることを通じて技術の向上を図る。	配布資料等	配布資料及びこれまでのテキストの該当部分を予習
		各コマにおける授業予定	実習日誌の作成 添削等		
第12回	演習形式	授業を通じての到達目標	実習計画書の意義と目的を理解し、作成することができる。	配布資料等	配布資料及びこれまでのテキストの該当部分を予習
		各コマにおける授業予定	実習計画書とは 実習計画書作成作業		
第13回	演習形式	授業を通じての到達目標	実習を通じて学んだことの振り返りを共有できる。	配布資料等	配布資料及びこれまでのテキストの該当部分を予習
		各コマにおける授業予定	実習の振り返りと共有		
第14回	演習形式	授業を通じての到達目標	実習で学んだことと振り返りを報告会で共有できる。	配布資料等	配布資料及びこれまでのテキストの該当部分を予習
		各コマにおける授業予定	実習報告会、報告会準備等		
第15回	演習形式	授業を通じての到達目標	総括レポートを作成し、実習指導と実習を通じた総合的な振り返りとまとめができるようになる。	配布資料等	配布資料及びこれまでのテキストの該当部分を予習
		各コマにおける授業予定	総括レポートの作成		

2026 年度 授業計画(シラバス)

学 科	医療心理科		科 目 区 分	専門分野	授業の方法	演習
科 目 名	ソーシャルワーク実習指導		必修/選択の別	選択	授業時数(単位数)	90 (3) 時間(単位)
対 象 学 年	2年		学期及び曜時間	後期	教室名	
担 当 教 員	吉岡 千乃 岡井 豪	実務経験とその関連資格	精神保健福祉士として医療法人南風会 万葉クリニック、社会医療法人渡邊高記念会 西宮渡辺病院相談業務従事した。			
<b>《授業科目における学習内容》</b> ①ソーシャルワーク(精神保健福祉士)実習の意義について理解する。 ②精神疾患や精神障害のある人のおかれている現状を理解し、その生活の実態や生活上の困難について理解する。 ③ソーシャルワーク(精神保健福祉士)実習に係る個別指導及び集団指導を通して、精神保健福祉士や行うソーシャルワークに係る知識と技術について具体的かつ実践的に理解し実践的な技術等を体得する。 ④精神保健福祉士として求められる資質、技能、倫理、自己に求められる課題把握等、総合的に対応できる能力を習得する。 ⑤具体的な実習体験を、専門知識及び技術として概念化し、理論化し体系立てていくことができる能力を涵養する。						
<b>《成績評価の方法と基準》</b> 定期試験の点数70% 出席点20% 小テスト・受講態度点10%						
<b>《使用教材(教科書)及び参考図書》</b> 新精神保健福祉士養成講座8 『ソーシャルワーク実習指導・ソーシャルワーク実習』 中央法規出版						
<b>《授業外における学習方法》</b> 様々なメディアで取り上げられる精神障害者関連の問題について積極的に関心を持ち、知る努力をすすめて下さい。						
<b>《履修に当たっての留意点》</b> 3期に渡る科目のため、学年や実習前後のタイミング等に合わせた指導を展開します。						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容	
第16回	演習形式	授業を通じての到達目標	実習と実習指導の意義について説明できるようになる。	配布資料等	配布資料及びこれまでのテキストの該当部分を予習	
		各コマにおける授業予定	地域福祉施設実習を終え、次の医療機関実習に向けて改めて振り返りと意義について確認する。			
第17回	演習形式	授業を通じての到達目標	精神保健医療福祉の現状を説明できるようになる。①	配布資料等	配布資料及びこれまでのテキストの該当部分を予習	
		各コマにおける授業予定	時機に合わせて内容は指定 調べ学習を中心とする。			
第18回	演習形式	授業を通じての到達目標	精神保健医療福祉の現状を説明できるようになる。②	配布資料等	配布資料及びこれまでのテキストの該当部分を予習	
		各コマにおける授業予定	時機に合わせて内容は指定 調べ学習を中心とする。			
第19回	演習形式	授業を通じての到達目標	当事者の語りの触れる体験を通じて、現場のイメージを具体的に思い浮かべることができるようになる。	配布資料等	配布資料及びこれまでのテキストの該当部分を予習	
		各コマにおける授業予定	当事者による講演もしくは施設見学			
第20回	演習形式	授業を通じての到達目標	施設見学を通じて、自らの調べや理解の足りない部分を補えるようになる。	配布資料等	配布資料及びこれまでのテキストの該当部分を予習	
		各コマにおける授業予定	施設見学を予定			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容
第21回	演習形式	授業を通じての到達目標	精神保健福祉士として実習先で求められる専門知識と技術を確認し、涵養することができる。	配布資料等	配布資料及びこれまでのテキストの該当部分を予習
		各コマにおける授業予定	一般的に医療機関実習で求められる専門職の知識、技術の調べ学習を中心に進める。		
第22回	演習形式	授業を通じての到達目標	精神保健福祉士として実習先で求められる専門知識と技術を確認し、涵養することができる。	配布資料等	配布資料及びこれまでのテキストの該当部分を予習
		各コマにおける授業予定	一般的に医療機関実習で求められる専門職の知識、技術のを発表し共有する。		
第23回	演習形式	授業を通じての到達目標	精神保健福祉士に求められる職業倫理と法的責務について説明できるようになる。	配布資料等	配布資料及びこれまでのテキストの該当部分を予習
		各コマにおける授業予定	職業倫理、法的責務		
第24回	演習形式	授業を通じての到達目標	個人のプライバシー保護と守秘義務について説明できるようになる。	配布資料等	配布資料及びこれまでのテキストの該当部分を予習
		各コマにおける授業予定	精神保健福祉法及び個人情報保護法等		
第25回	演習形式	授業を通じての到達目標	実習日誌の内容と書き方を説明できるようになる。	配布資料等	配布資料及びこれまでのテキストの該当部分を予習
		各コマにおける授業予定	実習日誌とは、内容、書き方、構成等		
第26回	演習形式	授業を通じての到達目標	実習日誌を実際に書いてみることを通じて技術の向上を図る。	配布資料等	配布資料及びこれまでのテキストの該当部分を予習
		各コマにおける授業予定	実習日誌の作成 添削等		
第27回	演習形式	授業を通じての到達目標	実習計画書の意義と目的を理解し、作成することができる。	配布資料等	配布資料及びこれまでのテキストの該当部分を予習
		各コマにおける授業予定	実習計画書とは 実習計画書作成作業		
第28回	演習形式	授業を通じての到達目標	実習計画書を作成することができるようになる。	配布資料等	配布資料及びこれまでのテキストの該当部分を予習
		各コマにおける授業予定	実習計画書の作成、添削		
第29回	演習形式	授業を通じての到達目標	個人情報と守秘義務の誓約書を作成することができる。	配布資料等	配布資料及びこれまでのテキストの該当部分を予習
		各コマにおける授業予定	個人情報、守秘義務等		
第30回	演習形式	授業を通じての到達目標	実習で想定されるトラブルについて、適切な対応を判断できるようになる。	配布資料等	配布資料及びこれまでのテキストの該当部分を予習
		各コマにおける授業予定	実習先で起きるトラブル、こんなときどうする等		

2026 年度 授業計画(シラバス)

学 科	医療心理科		科 目 区 分	専門分野	授業の方法	演習
科 目 名	ソーシャルワーク実習指導		必修/選択の別	選択	授業時数(単位数)	90 (3) 時間(単位)
対 象 学 年	3年		学期及び曜時間	前期 木曜3限	教室名	5校舎10階
担 当 教 員	吉岡 千乃 岡井 豪	実務経験とその関連資格	精神保健福祉士として医療法人南風会 万葉クリニック、社会医療法人渡邊高記念会 西宮渡辺病院相談業務従事した。			
<b>《授業科目における学習内容》</b> ①ソーシャルワーク(精神保健福祉士)実習の意義について理解する。 ②精神疾患や精神障害のある人のおかれている現状を理解し、その生活の実態や生活上の困難について理解する。 ③ソーシャルワーク(精神保健福祉士)実習に係る個別指導及び集団指導を通して、精神保健福祉士や行うソーシャルワークに係る知識と技術について具体的かつ実践的に理解し実践的な技術等を体得する。 ④精神保健福祉士として求められる資質、技能、倫理、自己に求められる課題把握等、総合的に対応できる能力を習得する。 ⑤具体的な実習体験を、専門知識及び技術として概念化し、理論化し体系立てていくことができる能力を涵養する。						
<b>《成績評価の方法と基準》</b> 定期試験の点数70% 出席点20% 小テスト・受講態度点10%						
<b>《使用教材(教科書)及び参考図書》</b> 新精神保健福祉士養成講座8 『ソーシャルワーク実習指導・ソーシャルワーク実習』 中央法規出版						
<b>《授業外における学習方法》</b> 様々なメディアで取り上げられる精神障害者関連の問題について積極的に関心を持ち、知る努力をすすめて下さい。						
<b>《履修に当たっての留意点》</b> 3期に渡る科目のため、学年や実習前後のタイミング等に合わせた指導を展開します。						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容	
第31回	演習形式	授業を通じての到達目標	実習と実習指導の意義について説明できるようになる。	配布資料等	配布資料及びこれまでのテキストの該当部分を予習	
		各コマにおける授業予定	精神保健福祉士になるための必要な実習と実習指導の、目的・意義 等			
第32回	演習形式	授業を通じての到達目標	精神保健医療福祉の現状を説明できるようになる。	配布資料等	配布資料及びこれまでのテキストの該当部分を予習	
		各コマにおける授業予定	時機に合わせて内容は指定 調べ学習を中心とする。			
第33回	演習形式	授業を通じての到達目標	実習先について説明できるようになる。	配布資料等	配布資料及びこれまでのテキストの該当部分を予習	
		各コマにおける授業予定	配属予定にお施設について、種別、対象、規模、理念等をわかる限り調べまとめる。			
第34回	演習形式	授業を通じての到達目標	当事者の語りの触れる体験を通じて、現場のイメージを具体的に思い浮かべることができるようになる。	配布資料等	配布資料及びこれまでのテキストの該当部分を予習	
		各コマにおける授業予定	当事者による講演もしくは施設見学			
第35回	演習形式	授業を通じての到達目標	施設見学を通じて、自らの調べや理解の足りない部分を補えるようになる。	配布資料等	配布資料及びこれまでのテキストの該当部分を予習	
		各コマにおける授業予定	施設見学を予定			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第36回	演習形式	授業を通じての到達目標	精神保健福祉士として実習先で求められる専門知識と技術を確認し、涵養することができる。	配布資料等	配布資料及びこれまでのテキストの該当部分を予習
		各コマにおける授業予定	各実習先で求められる専門職の知識、技術の調べ学習		
第37回	演習形式	授業を通じての到達目標	精神保健福祉士として実習先で求められる専門知識と技術を確認し、涵養することができる。	配布資料等	配布資料及びこれまでのテキストの該当部分を予習
		各コマにおける授業予定	各実習先で求められる専門職の知識、技術について発表を通じて共有する。		
第38回	演習形式	授業を通じての到達目標	精神保健福祉士に求められる職業倫理と法的責務について説明できるようになる。	配布資料等	配布資料及びこれまでのテキストの該当部分を予習
		各コマにおける授業予定	職業倫理、法的責務		
第39回	演習形式	授業を通じての到達目標	個人のプライバシー保護と守秘義務について説明できるようになる。	配布資料等	配布資料及びこれまでのテキストの該当部分を予習
		各コマにおける授業予定	精神保健福祉法及び個人情報保護法等		
第40回	演習形式	授業を通じての到達目標	実習日誌の内容と書き方を説明できるようになる。	配布資料等	配布資料及びこれまでのテキストの該当部分を予習
		各コマにおける授業予定	実習日誌とは、内容、書き方、構成等		
第41回	演習形式	授業を通じての到達目標	実習日誌を実際に書いてみることを通じて技術の向上を図る。	配布資料等	配布資料及びこれまでのテキストの該当部分を予習
		各コマにおける授業予定	実習日誌の作成 添削等		
第42回	演習形式	授業を通じての到達目標	実習計画書の意義と目的を理解し、作成することができる。	配布資料等	配布資料及びこれまでのテキストの該当部分を予習
		各コマにおける授業予定	実習計画書とは 実習計画書作成作業		
第43回	演習形式	授業を通じての到達目標	実習を通じて学んだことの振り返りを共有できる。	配布資料等	配布資料及びこれまでのテキストの該当部分を予習
		各コマにおける授業予定	実習の振り返りと共有		
第44回	演習形式	授業を通じての到達目標	実習で学んだことと振り返りを報告会で共有できる。	配布資料等	配布資料及びこれまでのテキストの該当部分を予習
		各コマにおける授業予定	実習報告会、報告会準備等		
第45回	演習形式	授業を通じての到達目標	総括レポートを作成し、実習指導と実習を通じた総合的な振り返りとまとめができるようになる。	配布資料等	配布資料及びこれまでのテキストの該当部分を予習
		各コマにおける授業予定	総括レポートの作成		